

大阪第三データセンター



東日本大震災以降、BCP(事業継続計画)の重要性が再認識され、企業活動を支える情報システムの安全性向上を高めるため、データセンターの活用が増えています。

立地と設備そしてネットワーク接続性に優れた「大阪第三データセンター」を是非ご活用ください。

特長

■ 災害に強い設備

基礎免震構造採用。無停電電源装置、非常用発電機、空調はN+1冗長構成。
津波に備えて防潮堤を設置し、受変電設備、電源設備はすべて2階以上に設置。

■ 良好なアクセス環境

- 新大阪駅より20分
- 大阪駅より10分 ※電車での移動の場合

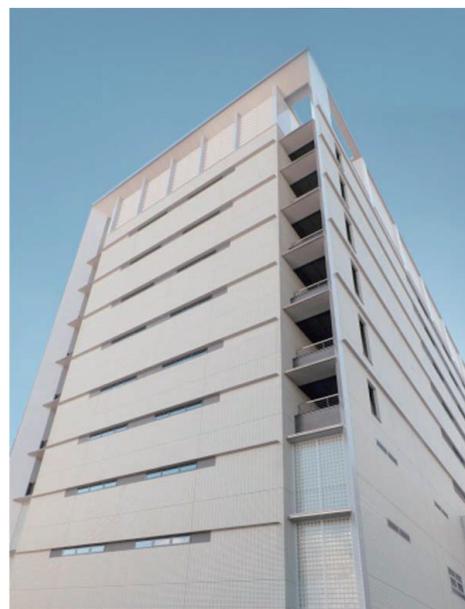
■ 環境にやさしいデータセンター

大阪第三データセンターは数々の環境対策を実施しています。

- 外気活用：低外気温時に、外気を利用して機器発熱を排熱
- ホットアイルキャッピング：ラック収容機器への給気(低温)と排気(高温)を物理的に分離する効率的な空調環境
- 太陽光発電：ビル壁面に太陽光発電システム設置(共有部分の照明に利用)

■ ネットワークとの高い接続性

- ソフトバンクの大容量バックボーンが支える高速・高品質なネットワーク
- インターネット網、閉域網・モバイル網などの活用でお客様ニーズに柔軟対応



■ 設備概要

所在地	大阪市北区
総床面積	11,534㎡
建築構造	SRC(鉄骨鉄筋コンクリート)造：免震設計 ※建築基準の1.5倍(官庁基準I類以上)で震度6強程度の地震に耐える設計
ビル竣工時期	2011年12月
防火設備	● 高感度煙感知器 ● N2消火設備
受電方式	特別高圧受電 22kV 3回線スポットネットワーク方式
無停電電源装置(CVCF)構成	N+1 冗長構成
非常用発電機スペック	ガスタービン式発電機

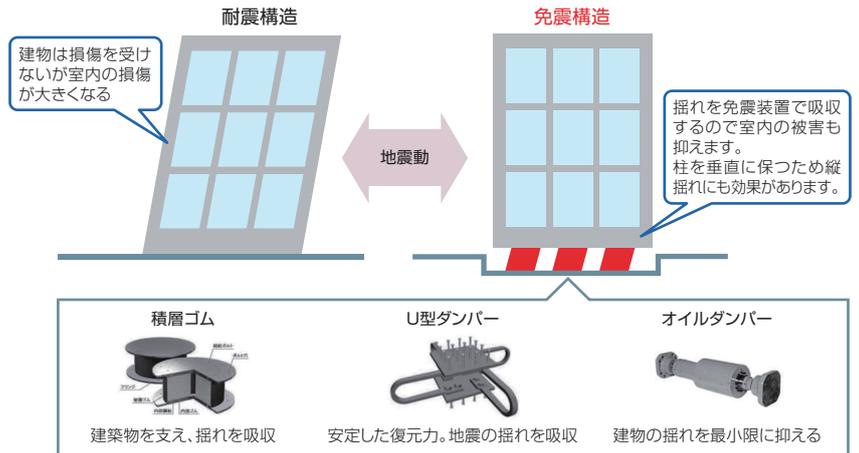
発電機構成	N+1 冗長構成
非常用発電設備稼働時間(最大負荷時)	48時間
優先補給契約の締結	あり
冷却方式	空冷式
空調構成	N+1 冗長構成
セキュリティ設備	DC出入り口：警備員による入室管理+フラッパゲート(ICカード) サーバ室出入り口：指透過認証+ICカード+共連れ防止機能
機器室フリアク面の耐荷重	1,000kg/㎡
フリアク高	600mm

■ サービスメニュー

コロケーションサービス レンタルラック	1ラックあたり最大5kVAまで提供可能
運用代行サービス	定期作業、緊急作業。監視塔の標準作業からお客様固有の対応まで幅広く実施

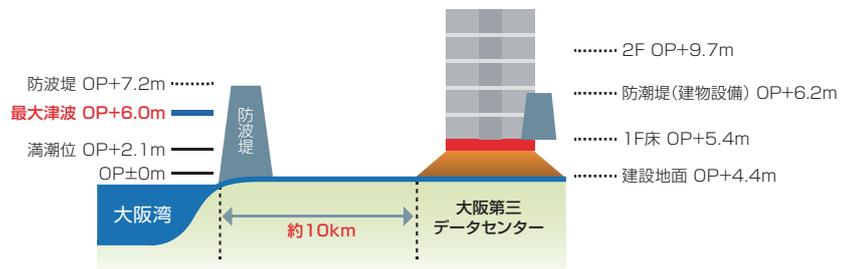
■ 地震対策

大阪第三データセンターは免震構造を採用しており、地震時の水平方向加速度を、通常の耐震構造と比較して1/3~1/5に低減します。



■ 津波・水害対策

大阪第三データセンターは大阪湾から約10km、OP+4.4mの高さに位置しています。データセンター設備としては防潮堤を設置することで水害に備えており、さらには機械設備(受変電設備、機器室)はすべて2階以上に設置しています。南海、東南海、東海の3連動地震が発生した場合に生じる津波(O.P+6m)にも耐えうる構造になっています。



■ 停電対策

電力供給が安定しない状況に陥ったとしても、大阪第三データセンターにおいては十分な対策がなされています。無停電電源装置、非常用発電機はすべてN+1冗長構成となっており、万が一の状況においても安定した電力供給が可能です。

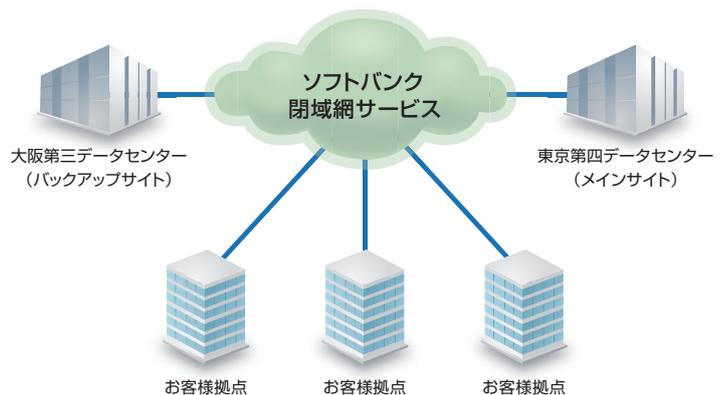
受電方式	特別高圧22kV3回線スポット受電設備
自家発電	ガスタービン発電機 N+1冗長構成
発電機無給油稼働時間	48時間
優先補給契約	締結済み
無停電電源装置(CVCF)	N+1冗長構成

ご利用例

■ 都内データセンターのバックアップサイトとしての利用

ソフトバンクでは、地震などの自然災害に対処する*ディザスタリカバリ用に、複数のデータセンターをご提供いたします。例えば、東京にメインサイト、大阪にバックアップサイトという構成で、企業の事業継続性を高めます。大阪第三データセンターは災害に強く、東京からのアクセスにも優れており、バックアップサイトに最適です。

* ディザスタリカバリとは自然災害などで被害を受けたシステムを復旧、修復するための備えとなる機器やシステム、体制のこと。



お問い合わせ

* バンフレット記載内容は、2015年12月現在のものです。
* サービス名称は一般に各社の商標または登録商標です。